

2025年2月17日

ヒトミルクオリゴ糖 2FL が中国にて食品添加物として承認

キリンホールディングス株式会社（社長 COO 南方健志）の子会社である協和発酵バイオ株式会社（社長 深田浩司、以下協和発酵バイオ）が製造・販売を行うヒトミルクオリゴ糖（Human milk oligosaccharides; 以下 HMOs）の1つである2FL（2'-Fucosyllactose）が、2025年2月10日（月）、中国国家衛生健康委員会により食品添加物として承認されました。本承認を受け、協和発酵バイオは世界最大の乳児用調製粉乳生産・消費市場である中国市場への参入を開始します。協和発酵バイオの2FLの配合が認可された製品カテゴリーは、乳児（0-6か月）用調製粉乳、乳幼児（6か月-3歳）用調製粉乳、幼児（3歳以上）用調製粉乳、特殊医療用乳児用調製粉乳（0-12か月）の4カテゴリーとなります。2FLは母乳中に最も豊富に含まれるHMOであり、乳児用調製粉乳原料として世界的に広く利用されています。また、最近ではプレバイオティクス素材として着目され、海外では幅広い年齢層向けのサプリメントにも用いられています。

■協和発酵バイオ HMOs プロダクトマネジャー 落合将之コメント

「当社の2FLが中国において乳児栄養のための食品添加物として承認されたことを大変嬉しく思います。これは、私たちの製品が持つ高い品質と安全性が認められた結果であると自負しております。今回、私たちのHMOsとして初めてとなる2FLの中国市場への導入が、中国における乳児の健康的な成長と発育に大きな貢献をもたらすものと信じています。」

協和発酵バイオは、1990年代からHMOs研究開発の最前線に立ち、2000年に世界で初めて工業レベルでのHMOs大量生産システムを構築しました。2022年11月には、タイに新設した最先端の工場でHMOs3品目（2FL、3SL（3'-Sialyllactose sodium salt）、6SL（6'-Sialyllactose sodium salt））の商業生産を開始し、既に欧米、東南アジアなどのグローバル市場で販売しております。今後も世界の人々の健康と豊かさへの貢献に向けて邁進してまいります。



<図1：HMOs生産拠点であるタイ協和外観>



<図 2： HMOs を微生物発酵により生産する発酵槽>



<図 3： 品質管理室>

**協和発酵バイオは、ライフサイエンスとテクノロジーの進歩を追求し、
新しい価値の創造により、世界の人々の健康と豊かさに貢献します。**